2027年3月期

第2四半期（中間期）決算説明会資料

2026年11月20日

株式会社オプティム(東証プライム市場：3694)
代表取締役社長 菅谷 俊二

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競合状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績及び戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関わる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

AIであらゆる産業の未来を創造する

私たちは、AI・IoT技術を社会の隅々に行き渡らせ、日本のあらゆる産業を根底から変革する
「AX（AI Transformation）の中核を担う企業」を目指しています。

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

報告セグメント区分

堅実な成長とAI・IoT・Roboticsにより変革を加速させる**「AX（AI Transformation）事業」と**、農業全体のAX化を実現することで「楽しく・かっこよく・稼げる農業」を実現する**「アグリテック事業」**の2つのセグメント区分で事業を展開しています。

セグメント区分	サービス区分
AX事業	情シスAXサービス 医療AXサービス 建設・土木AXサービス オフィスAXサービス コミュニケーションAXサービス その他サービス
アグリテック事業	スマート農業サービス

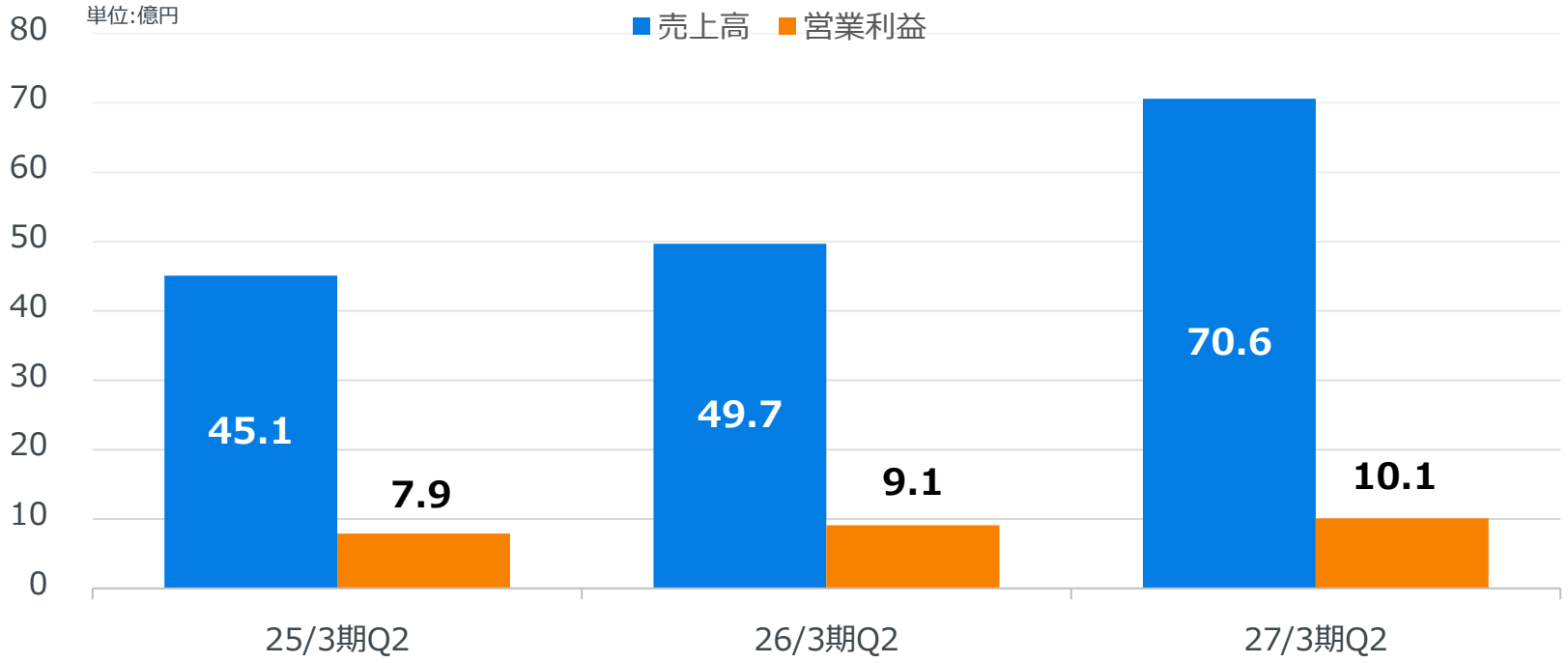
Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

前年同期比で大幅な増収
創業来27期連続最高売上高に向けて計画通り順調に推移

	2026年3月期 第2四半期 実績	2027年3月期 第2四半期 実績	実績 前年比	2027年3月期 通期業績 予想	2027年3月期 通期業績 進捗率
売上高	49.7億円	70.6億円	142.1%	129.8億円	54.4%
営業利益	9.1億円	10.1億円	111.1%	19.8億円	51.3%
経常利益	8.5億円	9.5億円	110.9%	19.9億円	47.7%
純利益	5.3億円	5.7億円	107.0%	11.3億円	50.7%

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

売上高　70.6億円（前年比142.1%）
営業利益　10.1億円（前年比111.1%）



売上高	営業利益	営業利益率
70.6億円	**10.1億円**	**14.4%**
前年比 142.1%	前年比 111.1%	前年比 ▲4.0pt

※億円未満の端数処理により、合計が一致しない場合があります

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

セグメント区分別

アグリテック事業が売上高を大きく伸ばし、全体の売上高を大幅にけん引
AX事業がストックを中心とした売上高を伸ばし、全体の利益に貢献

セグメント別売上高

AX事業 **45.1億円** 前年比 105.1%

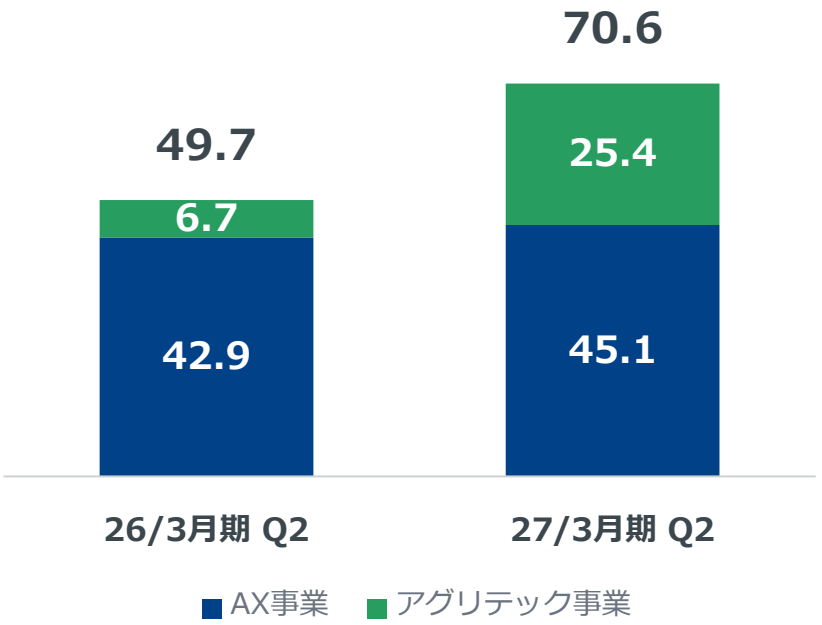
アグリテック事業 **25.4億円** 前年比 376.9%

売上高合計 70.6億円（前年比 142.1%）

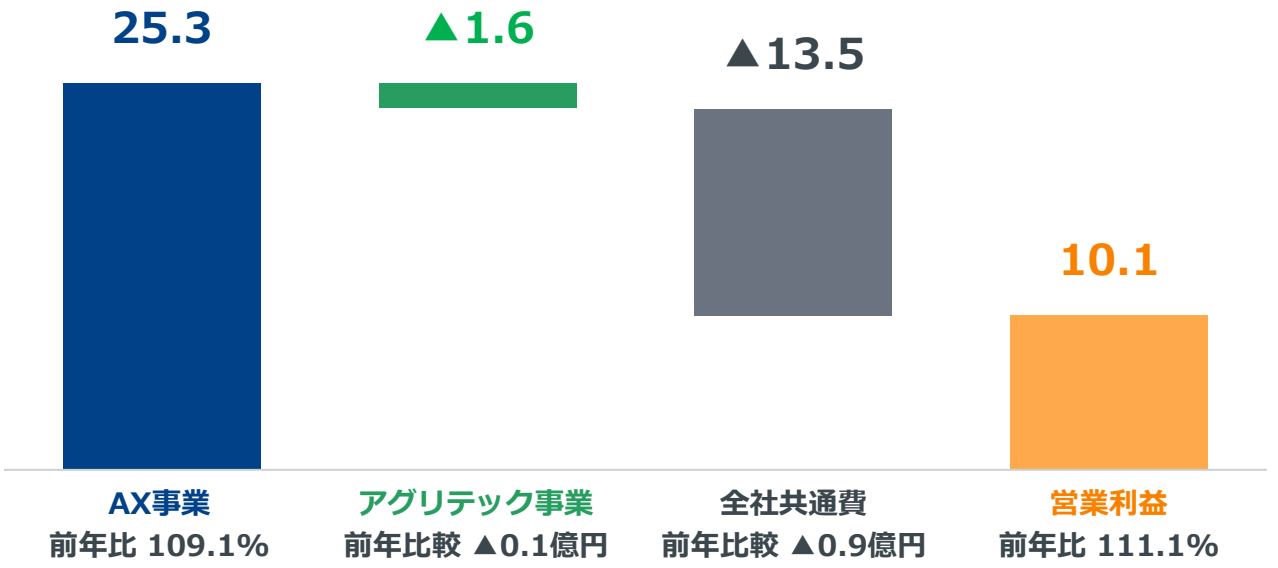
営業利益 **10.1億円** 前年比 111.1%

AX事業の安定した利益成長を原資に、アグリテック事業への成長投資を推進

単位：億円



単位：億円（27/3月期 Q2）



※億円未満の端数処理により、合計が一致しない場合があります

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

セグメント区分別：AX事業

前年同期から順調に増収増益
堅調に積み上げたライセンス収益が高い営業利益を実現

AX事業

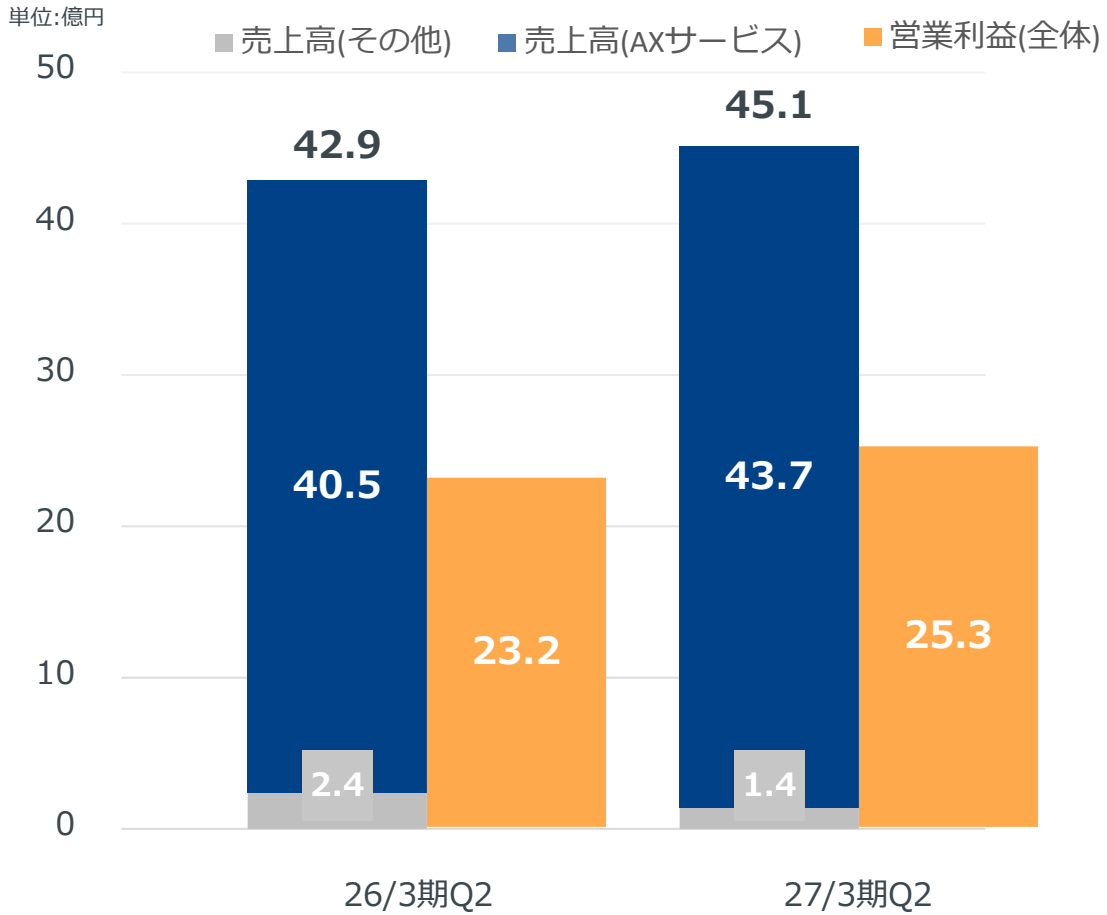
売上高
45.1億円
前年比 105.1%

AXサービス 売上高
43.7億円
前年比 107.9%

その他サービス※ 売上高
1.4億円
前年比 57.7%

営業利益
25.3億円
前年比 109.1%

- **情シスAXサービス：**シェアNo.1のMDMサービスを基盤に、情シス業務効率化、情報漏えい対策サービスなどを展開
- **建設・土木AXサービス：**インフラ点検領域への展開を推進
- **医療AXサービス：**生成AIとスマホで病院の業務効率化とセキュリティサービスを拡大
- **オフィスAXサービス：**会計基準改正による企業のガバナンス強化を支援
- **コミュニケーションAXサービス：**自治体DX関連サービス等の成長が継続



※億円未満の端数処理により、合計が一致しない場合があります
※一般コンシューマ向けサービス、単年度スポット案件など

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

セグメント区分別：AX事業

その他サービス※を除外したAXサービスのみの売上高は43.7億円（前年比107.9%）
そのうちストック売上高は36.3億円（前年比104.1%）
ストック比率は83.1%と高水準を維持

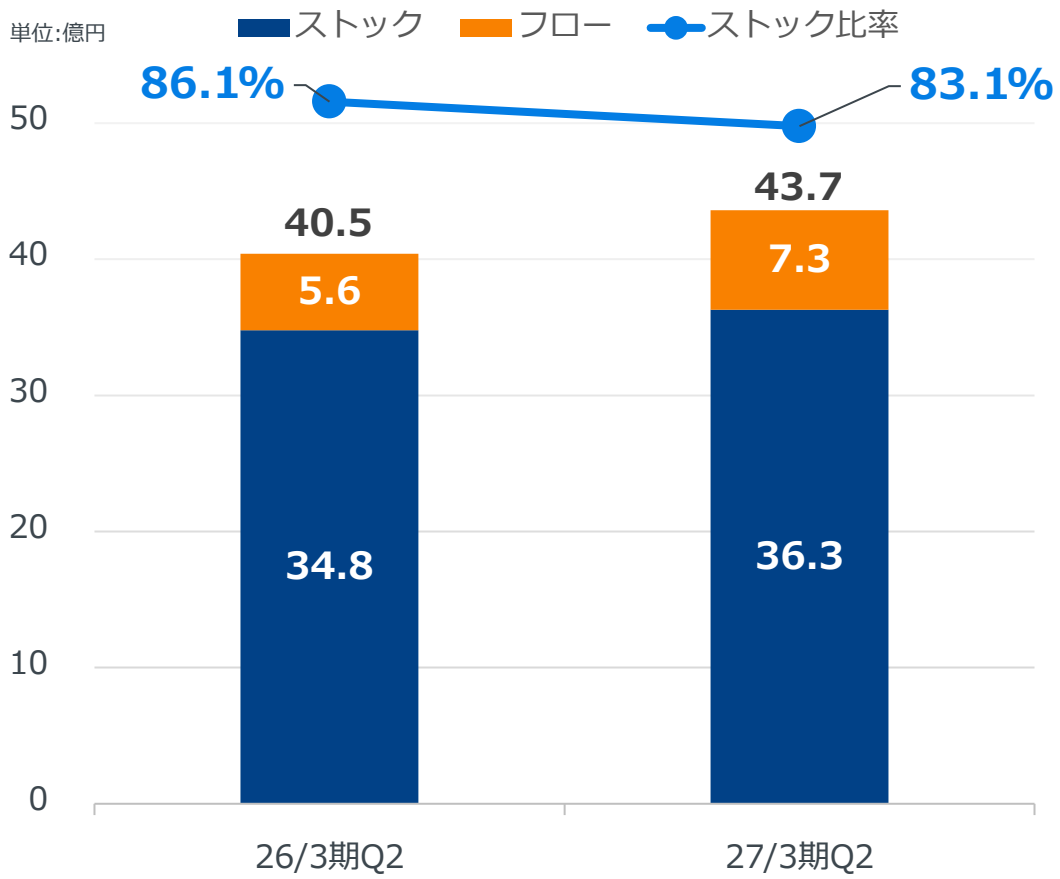
AXサービス

売上高
43.7億円
前年比 107.9%

ストック 売上高
36.3億円
前年比 104.1%

ストック 売上高 比率
83.1%
前年比 ▲3.0pt

- **情シスAXを中心にライセンス数が成長**
  - **情シスAXサービス：**「OPTiM Biz」は今期もライセンス数増加。「OPTiM Store」が需要増加
  - **オフィスAXサービス：**「OPTiM 文書管理」シリーズがサービス開始以来ライセンス数伸長を継続
  - **コミュニケーションAXサービス：**「OPTiM Support & Growth Portal」のライセンス売上が業績拡大に寄与



※億円未満の端数処理により、合計が一致しない場合があります
※一般コンシューマ向けサービス、単年度スポット案件など

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

セグメント区分別：アグリテック事業

売上高が25.4億円（前年比376.9%）、前年同期から大きく成長
ドローン散布サービスの拡大や農作物販売が今期も好調

アグリテック事業

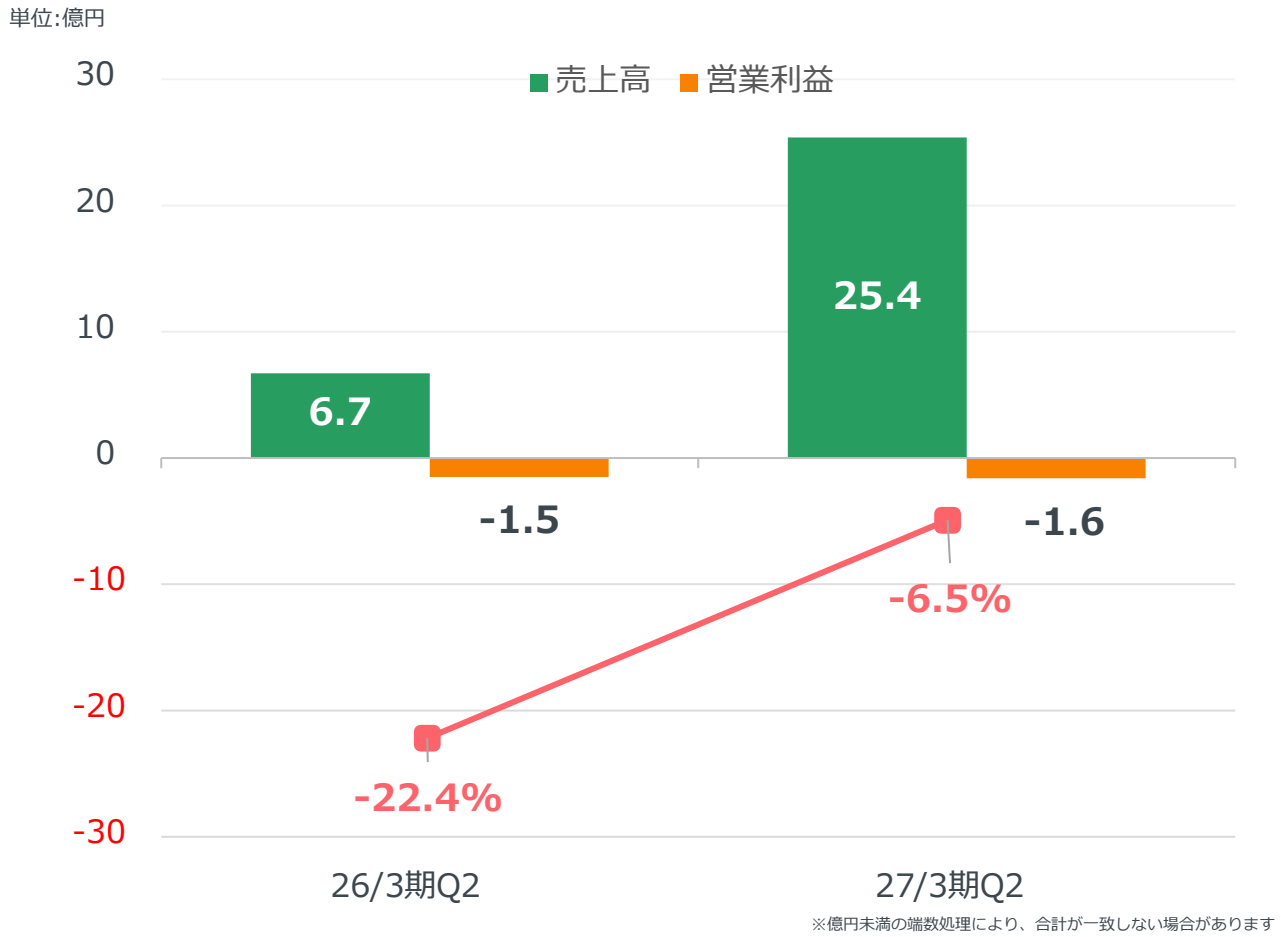
売上高
25.4億円
前年比 376.9%

営業利益
▲1.6億円
前年比較 ▲0.1億円

営業利益率
▲6.5%
前年比較 ＋15.8pt

- **「Agri Buddy」**：夏季作物向けに実施した営業活動により、対応面積を順調に拡大
  関連特許も活用し、競争優位性を強化

- **「スマートアグリフード」**：スマート米をはじめとした農作物の流通・販売支援サービスが順調に拡大し、売上を伸ばす



※億円未満の端数処理により、合計が一致しない場合があります

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

事業ハイライト：AX事業

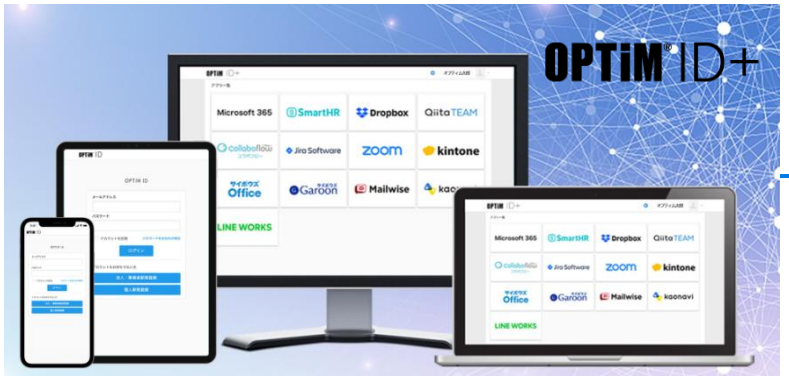
情シスAXサービス：
シェアNo.1のMDMサービスを基盤に、情シス業務効率化、情報漏えい対策サービスなどを展開

OPTiM ID+

OPTiM ID+：多要素認証サービスの永年無償提供※を開始。

相次ぐ不正アクセス・情報漏えい事案を受け、端末管理に加えID管理・認証の領域からも企業の情報セキュリティ対策を支援。

無償：入口となるIDセキュリティ対策



連携先：当社のサービスと他社クラウドサービス

- **OPTiM Biz**　スマートフォン・PCの端末管理（MDM）
- **OPTiM Biz Premium**　ID・端末・SaaS・物品管理を一元化
- **OPTiM Biz 情シス代行**　導入・運用など情シス業務を支援
- **他社クラウドサービス**　Microsoft 365、Dropbox など

※2026年12月28日までに申し込んだ未契約法人が対象

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

事業ハイライト：AX事業

情シスAXサービス：
シェアNo.1のMDMサービスを基盤に、情シス業務効率化、情報漏えい対策サービスなどを展開



OPTiM Biz Premium：SCS評価制度の認定取得支援サービスを開始。

診断からITシステムの実装・運用確認までを一気通貫で提供し、
企業のセキュリティ対策を共通の基準で評価・可視化するSCS評価制度において、
★取得に向けたニーズを捉え、新たな収益機会を創出する。

情報処理推進機構（IPA）
↓委託
OPTiM（実証事業者）
↓無償で支援
中小企業（実証参加企業）

OPTiM Biz Premium：SCS評価制度に関するIPAの実証事業に採択。

情報処理推進機構（IPA）の「サイバーセキュリティお助け隊サービス（新類型）」
実証事業として、中小企業のSCS評価制度の★3取得を診断から申請まで無償で支援。
実証を通じてノウハウを蓄積し、本格展開に繋げる。
サイバーセキュリティお助け隊サービス（新類型）実証事業一覧

OPTiM Biz Premium：販売パートナーとの連携を強化。

株式会社ルーク、株式会社ラネットを通じた販売を開始し、
各社の強みを活かした販売網を構築し、拡販の加速を図る。

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

事業ハイライト：AX事業

情シスAXサービス：
シェアNo.1のMDMサービスを基盤に、情シス業務効率化、情報漏えい対策サービスなどを展開



OPTiM Biz：Windowsファイル操作ログの取得に対応。

不正な情報の持ち出しや誤操作によるデータ消失を早期に把握・追跡可能にし、
情報漏えい対策ニーズに応えることで製品の付加価値を向上。



OPTiM Biz：株式会社Belongと業務連携。

法人向け中古スマートフォンのレンタル・販売・買取を展開する株式会社Belongと連携し、
端末のライフサイクル全体を支援することで、顧客基盤の強化を図る。



OPTiM Biz：国内MDM市場シェアNo.1を16年連続で達成。

デロイト トーマツ ミック経済研究所の調査レポートにおいて、
16年連続で国内市場シェアNo.1を獲得。
製品への信頼性を強みに、既存顧客のライセンス継続と新規顧客の獲得を図る。

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

事業ハイライト：AX事業

情シスAXサービス：
シェアNo.1のMDMサービスを基盤に、情シス業務効率化、情報漏えい対策サービスなどを展開



OPTiM Biz AI Agent β：企業向け生成AI基盤の提供を開始。

ID数無制限の企業定額で全従業員に公式AI環境を提供し、シャドーAIを防止。
利用状況・コストの可視化や業務エージェントの作成・共有も一つの基盤で実現。
β版での利用拡大を通じて知見を蓄積し、正式版の提供に繋げる。

東京都 新宿区

OPTiM AIRES：新宿区向け総合案内AIチャットボットの提供を開始。

組織ごとに参照情報を限定する当社特許技術（特許第7847403号）を活用し、
高精度な回答を実現。本導入を実績に、他の自治体への横展開を図る。



OPTiM Biz 情シス代行：スポット情シスサービスの提供を開始。

中堅・中小企業向けに、ヘルプデスクや端末管理などの情シス業務を必要な時間・範囲で代行。
運用支援を入口に、AX・DX推進まで含めた顧客との関係強化を図る。

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

事業ハイライト：AX事業

医療AXサービス：生成AIとスマホで病院の業務効率化とセキュリティサービスを拡大



OPTiM AI ホスピタルフォン：2027年1月の提供開始を発表。

院内チャット、ワークフロー、撮影・録音、AIによる報告書作成をスマホ1台に集約。
今後は「Drs'HotLine」と連携し、医用画像の共有にも対応予定。
病院のスマホ活用ニーズを捉え、医療機関への導入拡大を図る。



OPTiM AI ホスピタル スイート：病院向けAX統合パッケージの提供を開始。

生成AI、院内スマホ、PC・スマホ・ID管理、文書管理を1つのパッケージで提供し、
病院全体の業務効率化とセキュリティ対策を支援。
複数サービスの一括導入により、1病院あたりの取引拡大を図る。

MediTech：医用画像共有サービス「Drs'HotLine®」の提供会社を子会社化。

当社のAI技術とMediTechの医用画像共有技術を組み合わせ、
医師の診断を支援するサービスの開発を推進。
医用画像技術の取り込みと同社の販路活用により、医療分野での事業拡大を図る。

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

各産業AXサービス：建設・オフィス・自治体の各領域で取組みが進捗



建設・土木AXサービス：インフラ点検領域へ展開。

OPTiM Geo Scanに、パシフィックコンサルタンツ株式会社との連携による
自治体向けインフラ点検機能を追加し、公共領域での導入拡大を図る。



オフィスAXサービス：OPTiM Contractが新リース会計基準に対応。

対象資産の該否判定の自動化などにより、
企業の業務負荷軽減とガバナンス強化に寄与し、会計基準改正に伴う需要の取り込みを図る。



コミュニケーションAXサービス：自治体DX関連サービスが成長。

財源循環型クーポン・プラットフォーム「とくみん」を発表したほか、
OPTiM Support & Growth Portalはカスタマイズ需要も含めライセンス数が増加。

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

アグリテック事業：Agri Buddyとスマートアグリフードの成長が業績拡大に寄与



スマート農業サービス：Agri Buddyサービスが大きく伸長。

夏季作物を中心とした積極的な営業と対応作物の拡大により利用が拡大。
農業生産活動の効率化に関する当社特許技術を活用し、サービスの差別化を図る。



スマートアグリフード：流通・販売支援サービスが順調に拡大。

スマート米をはじめとする流通・販売支援が拡大。
生産から流通・販売までを一貫して支援し、農業者の収益向上と当社の収益拡大の両立を図る。

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

スマート農業サービス：ピンポイントタイム散布サービスが前年度比約1.4倍に拡大

数値で見るPTSの状況（2026年度実績※3）

散布面積（国内最大※1）
45,000ha※2
昨対比率　141%
エリア：26府県134市町村
顧客数：136防除組合・JA・協業企業様

生産者数
20,000名
昨対比率　110%
共同防除申し込み生産者数

散布圃場数
280,000圃場
昨対比率　210%
2026年にOPTiMが散布した圃場数

稼働パイロットチーム数
300チーム
昨対比率　113%
2026年に散布に参加したチーム数

4件の特許技術で散布を最適化

評価
パイロットの生産性を実績から評価

計画
担当圃場と散布経路を決定

割り当て
制約を守り日程・工数を配分

予測
終了時刻を当日の実績で補正

※1 出典：富士経済「アグリ&水産養殖ビジネスの現状と将来展望 2025」<農業用ドローン活用サービス・2024年実績・金額ベース>
※2 延べ散布面積。同一圃場で複数回散布した場合は、散布ごとの面積を合算。前年度比は、2025年度の延べ散布面積（約32,000ha）との比較
※3 2026年11月時点、当社での2026年度のサービス利用状況をもとに集計。着地見込みを含む

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

投資戦略：AI活用の全社展開とアグリテックの事業基盤強化を推進



AI戦略：開発投資を継続し、開発効率と品質を向上。

生成AIの浸透で開発効率が向上したほか、ソースコードのAI分析により
品質・セキュリティの向上にも寄与。



AI活用：開発部門で先行した取組みを全社へ拡大。

従業員自らAIエージェントを作成し、営業・法務・広報など全社の業務でAI活用を推進し、
全社的な生産性の向上を図る。

AGRIMEDIA

株式会社アグリメディア：資本業務提携を締結。

同社の販売網と農業人材を活用し、
生産から流通・販売までの事業基盤強化とアグリテック事業の拡大を図る。



IR活動：株主様向けスマート農業見学・収穫体験会を開催。

ドローン飛行や試食会を通じ、当社が推進する農業AXへの理解促進に注力。
株主の皆様との対話を深め、中長期的なご支持の拡大を図る。

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

プライム市場上場維持基準への適合に向けた取組みについて

当社はプライム市場の上場維持基準への適合に向け、持続的な企業価値の向上とIR活動の強化を推進しております。

■ プライム市場残留に向けた取組み

・2026年6月公表の「上場維持基準への適合に向けた計画」に基づき、期限内での基準クリアへ向け各種施策を実行中。
・持続的な事業成長の実現をもって市場からの適正な評価を獲得する。

■ 流通株式時価総額（100億円）達成へのアプローチ

・**① コア事業の成長による企業価値（株価）の向上**
主力であるAX事業の拡大、およびセキュリティ領域（OPTiM Biz等）やアグリテック事業の成長加速による業績拡大。
・**② 流動性および認知度の向上**
中長期的な安定株主の確保と、個人・機関投資家双方に対するIR対話の充実を図る。

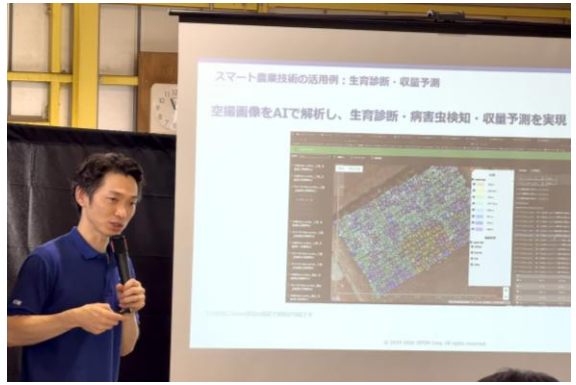
■ 直近の具体的な実施状況と進捗

・**【実施済み】対話の強化：株主様向けイベント「OPTiM Field Lab Vol.1」の開催（2026年10月17日）**
当社直営農場（栃木県小山市）において、1単元（100株）以上保有の株主様を対象に「スマート農業見学・収穫体験会」を開催。次世代成長戦略であるアグリテック事業（Agri Buddy等）の実績を直接体感していただくことで、中長期の安定株主層の醸成およびエンゲージメント強化へと繋げる。
・**【進行中】資本政策の機動的な遂行**
市場水準やキャッシュ・フローを総合的に勘案し、総株主利益の最大化と流通株式時価総額の引き上げに直結する施策について、引き続き機動的な選択肢として検討・遂行。
・**【進行中】市場評価（IR）のさらなる充実**
国内外の機関投資家との1on1対話の拡充、および開示資料の多角化（英文開示の拡充等）によるグローバルな投資家層の拡大。

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

株主様向けイベント開催 OPTiM Field Lab Vol.1 ～スマート農業見学～

株主の皆様およびそのご家族23名にご参加いただき、ご好評の声を多数いただきました



事業説明



参加者集合写真


ドローン飛行デモ


稲刈り体験

■参加者の声

- 「稲刈り体験やドローン見学に加え、社員の皆さまと直接お話しできたことが特に印象に残りました。」
- 「スマート米を試食しながら、社員や役員の方々と直接対話できたことが、かけがえのない貴重な時間でした。」
- 「農業DXに関する理解を深めることができ、事業の今後により期待を持つことができました。」
- 「皆さまが率先して声を掛けてくださり、温かさを感じる非常に良い機会となりました。」
- 「スマート農業事業の成長に期待するとともに、他事業領域の見学イベントにも参加してみたいと思いました。」
- 「収穫体験から試食まで一連の流れを体験でき、皆で食べたお米がとてもおいしかったです。」

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

質疑応答

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

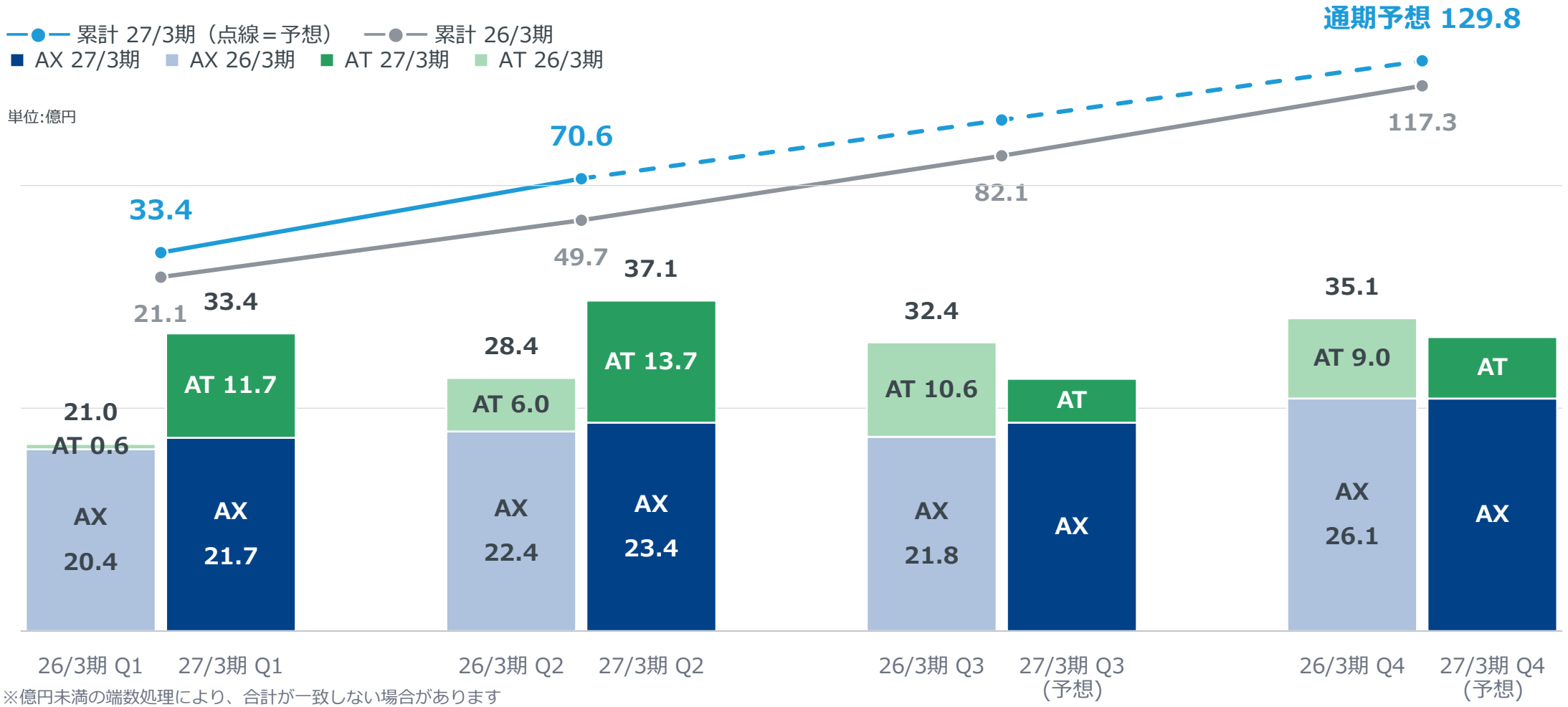
事前に頂いた質問

上期の売上高進捗率は54.4%と順調に推移していますが、通期業績予想は据え置かれています。据え置いた背景と、下期の見通しや上振れの可能性について教えてください。

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

セグメント別 四半期売上推移

売上は計画どおり順調に推移
アグリテック事業（AT）の売上が、好調に推移しており、今期は例年に比べて上期偏重傾向
AX事業（AX）は、例年どおり右肩上がりに売上が積み上がっており順調に進捗
全体売上としては期初計画どおり過去最高売上高で着地する見込み



※億円未満の端数処理により、合計が一致しない場合があります

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

事前に頂いた質問

昨今社会問題になっている情報漏洩問題の被害から企業や自治体でのセキュリティニーズが高まっていますが、この分野における事業機会がどのように広がっているかを教えてください。

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

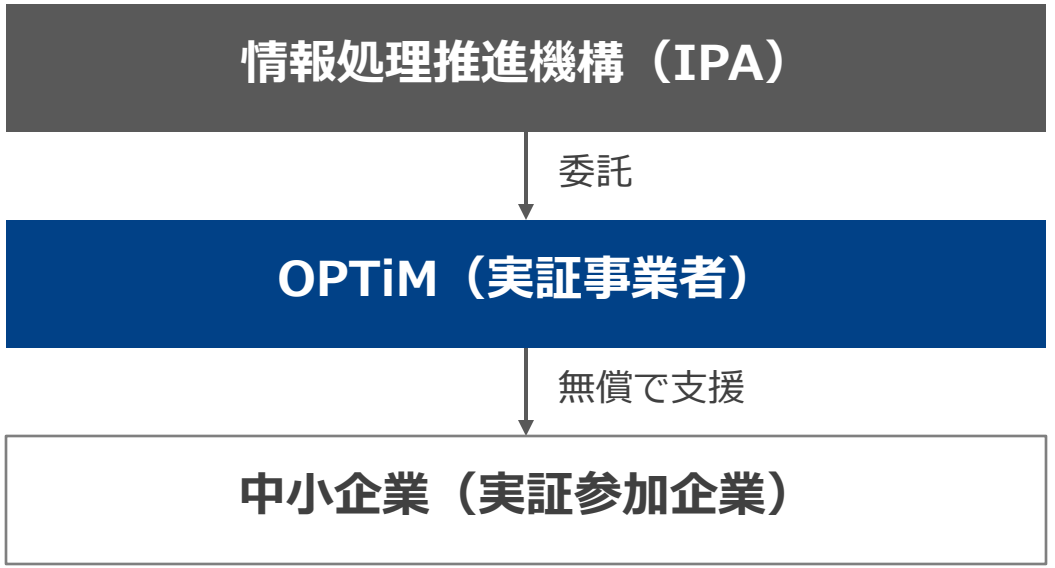
OPTiM Biz Premium：
SCS評価制度の★取得を、支援パックの提供とIPAの実証事業の両面で支援

SCS評価制度支援パック



- 診断から実装・運用確認までを一気通貫で提供
- ★取得に向けたニーズを捉え、新たな収益機会を創出

サイバーセキュリティお助け隊サービス（新類型）



- 中小企業の★3取得を、診断から申請まで無償で支援
- 実証を通じてノウハウを蓄積し、本格展開につなげる

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

事前に頂いた質問

アグリテック事業は売上高が前年同期比276.9%増と大きく伸び、営業利益率も15.8pt改善しています。今後の利益成長に向けた収益構造の考え方と、収益性のさらなる向上に向けた見通しを教えてください。

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

セグメント区分別：アグリテック事業

売上高が25.4億円（前年比376.9%）、前年同期から大きく成長
ドローン散布サービスの拡大や農作物販売が今期も好調

アグリテック事業

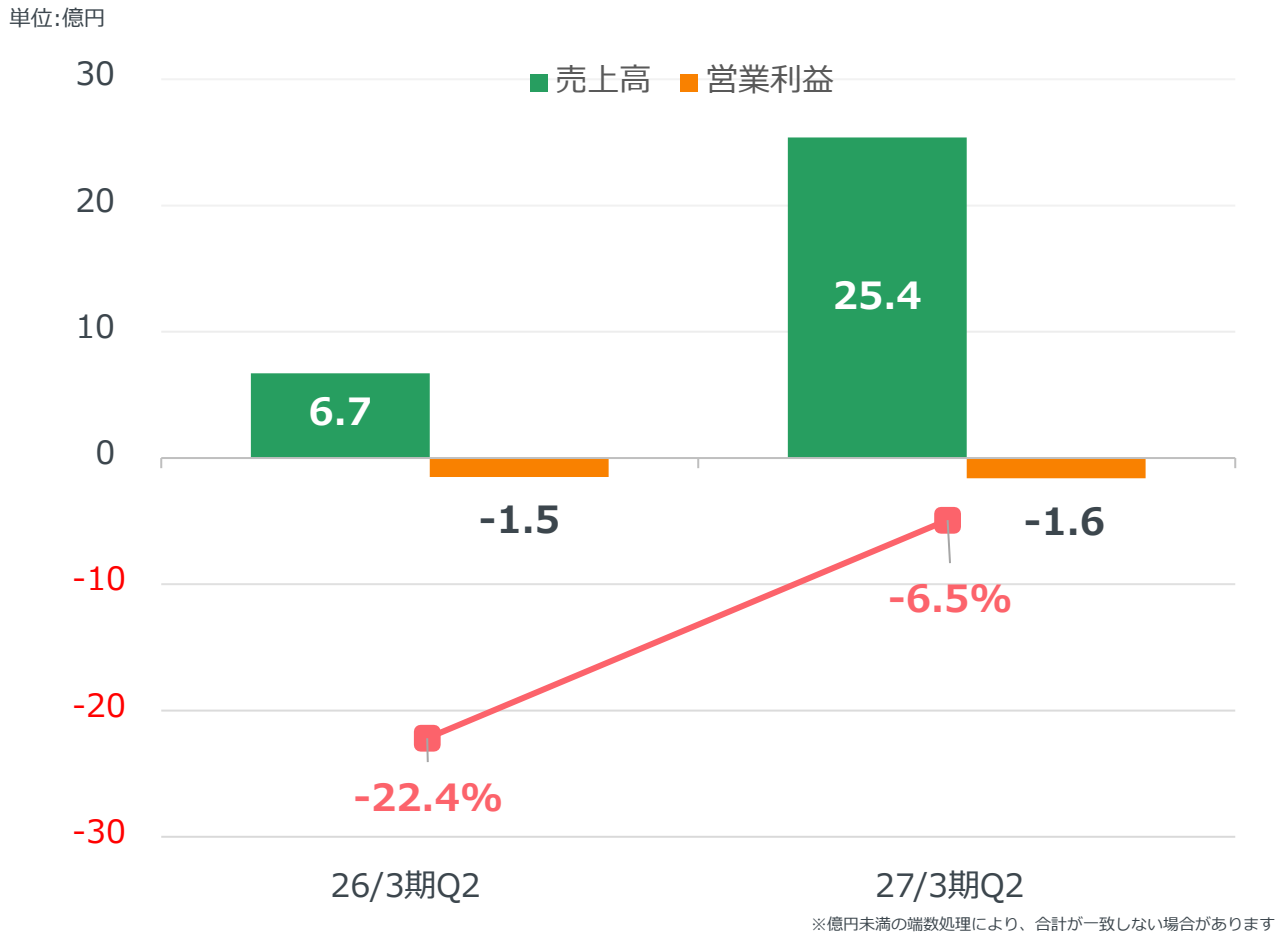
売上高
25.4億円
前年比 376.9%

営業利益
▲1.6億円
前年比較 ▲0.1億円

営業利益率
▲6.5%
前年比較 ＋15.8pt

- **「Agri Buddy」**：夏季作物向けに実施した営業活動により、対応面積を順調に拡大
  関連特許も活用し、競争優位性を強化

- **「スマートアグリフード」**：スマート米をはじめとした農作物の流通・販売支援サービスが順調に拡大し、売上を伸ばす



※億円未満の端数処理により、合計が一致しない場合があります

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

事前に頂いた質問

今期もAI開発への積極的な投資を継続されています。AI関連サービスの売上への貢献や社内の生産性向上など、これまでに表れている具体的な成果を教えてください。

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

AI投資の成果①：AIサービス

AX事業のAIサービス：
リリース・アップデートを続け、自治体・企業への導入と売上を拡大

情シスAXサービス
OPTiM AIRES



- 新宿区で総合案内AIチャットボットを開始
- 他の自治体へ横展開

コミュニケーションAXサービス
OPTiM Support & Growth Portal



- ライセンス売上が業績拡大に寄与
- カスタマイズ需要も含め利用が拡大

情シスAXサービス
OPTiM Biz AI Agent β



- 企業向け生成AI基盤を提供開始
- 全従業員に公式AI環境を提供

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

AI投資の成果②：社内のAI活用

社内のAI活用：開発部門から全社へ広げ、業務効率化と人的コストの最適化が進展

STEP 1｜開発部門
開発部門で先行して活用



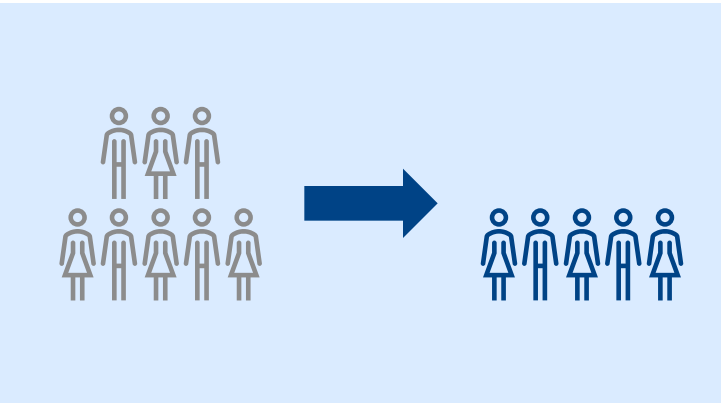
- 生成AIで開発効率が向上
- コードのAI分析で品質も向上

STEP 2｜全社
全社の業務へ拡大



- 従業員自らAIエージェントを作成
- 営業・法務・広報などで活用

成果
業務効率化・人的コスト最適化



- AI活用で業務効率化が進展
- 業務委託・新規採用のコストを最適化

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

事前に頂いた質問

現在は成長投資を優先する方針と認識していますが、その方針に変わりはないでしょうか。手元資金の活用方針を含め、株主還元に対する考え方を教えてください。

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

手元資金の活用：M&A・資本業務提携

成長投資：
M&A・資本業務提携で、医療・農業の事業基盤を強化

医療AXサービス｜子会社化

MediTech株式会社



医用画像技術と販路を活用し、医療分野を拡大

アグリテック事業｜資本業務提携

株式会社アグリメディア



販売網と農業人材を活用し、アグリテックを拡大

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

事前に頂いた質問

プライム市場の上場維持基準である流通株式時価総額100億円の達成期限（2027年3月末）まで、5ヵ月を切りました。資本政策を含めた取組みの進捗と、今後の方針を教えてください。

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.

OPTiM®

www.optim.co.jp

Copyright OPTiM Corp. All rights reserved.